



コンビ ニンナナンナ PA-138

ヨコ・タテだっこ&おんぶ兼用 はじめてホールド

取扱説明書

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。
本品を他の方にお譲りになるときには、必ず本書もあわせてお渡しください。

もくじ

ご使用の前に……………	1	ヨコだっこのしかた……………	7
安全にお使いいただくために……………	1	ヨコだっこのはずしかた……………	8
△警告……………	2	タテだっこのしかた……………	9
△注意……………	4	おんぶのしかた……………	11
コンビラダーの使用方法……………	5	タテだっこのはずしかた……………	13
サイドロック、サイドホックの使用方法……………	5	おんぶのはずしかた……………	14
ヘッドサポートの使用方法……………	6	各部の名称……………	15
アジャストファスナーの使用方法……………	6	洗濯及び日常のお手入れ方法……………	15



コンビ株式会社

この取扱説明書には、再生紙を使用しています。

製品にお気付きの点がございましたら、「お客様相談室」までご連絡ください。

お客様相談室／〒339-0025 埼玉県岩槻市釣上新田271 TEL. (048)797-1000 FAX. (048)798-6109

ご使用の前に

この製品は、一般家庭でお子さまを乗せ、外気浴、日光浴、買い物などに使用するための一人用子守帯です。「ヨコだっこ」「タテだっこ」「おんぶ」として使用できます。

●使用できるお子さまの月齢（お子さまの発育により体重や月齢に個人差があります）

〈ヨコだっこ〉 0ヵ月 首がすわるまで

体 重：6.0kgまで

参考月齢：生後から4ヵ月まで

〈タテだっこ〉 首がすわってから 12ヵ月(11.3kg)まで

体 重：11.3kgまで

参考月齢：首がすわってから12ヵ月まで

〈おんぶ〉 首がすわってから 30ヵ月(14.9kg)まで

体 重：14.9kgまで

参考月齢：首がすわってから30ヵ月まで

●使用者の適用ウエストサイズ：55～95cmまで

安全にお使いいただくために

安全上の注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者及びお子さまへの危害や物的損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は危害や物的損害の大きさと危害の度合いを示すもので、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示します。

⚠注意

誤った取り扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。

☐ の図の中に具体的な注意内容が書かれています。

⚠ 記号は警告・注意を促す内容があることをお知らせするものです。

警告

ヨコだっこの際、下記に該当するお子さまには使用しないでください。お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり傷害を負う恐れがあります。

- ① 体重6.0kg以上のお子さま
- ② 装着時にヘッドガードから頭部が出てしまうお子さま
- ③ 寝返りができるお子さま



ヨコだっこの際は「新生児用セーフティサポートシート」を装着し、「ヘッドガードフック」を必ず肩帯の「フック受け」に掛けて使用してください。「ヘッドガードフック」をとめずに使用するとお子さまがずり落ちる恐れがあります。



ヨコだっこの際は、お子さまの頭部を足よりも高い位置にし、必ず後頭部を手で支えてください。

使用中お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負う恐れがあります。



タテだっこの際、首がすわっていないお子さまへの使用は絶対にしないでください。お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負う恐れがあります。



タテだっこの際は必ず「新生児用セーフティサポートシート」を外してください。お子さまの頭部を圧迫する恐れがあります。



おんぶの際は必ずウエストバックルをとめてください。肩帯が使用者の肩からはずれ、お子さまが落下する恐れがあります。



⚠ 警 告

タテだっこの際は必ずコンビバックルをとめてください。
使用者の肩から肩帯がはすれ、
お子さまが落下する恐れがあります。



セーフティベルトや調節ベルトの長さはきつめに設定してください。
お子さまと使用者の間にすきまがありすぎたり、左右のベルトの長さが違ったりすると
お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下する恐れがあります。



サイドロック、サイドホック、セーフティバックルを確実にとめてください。
使用中お子さまがすれ落ちる恐れがあります。



ベルトの先端の返し縫い部を
ほどこいたり本体を改造したり
しないでください。
故障や重大な事故につながる
恐れがあります。



お子さまの出し入れは必ず安全な場所で行ってください。
(他の人に介添えしていただいた方がより安全です)
お子さまが落下する恐れがあります。



使用中走ったり、飛び跳ねたり、45°以上の前かがみや横曲げなどの無理な姿勢はしないでください。
お子さまが落下する恐れがあります。



⚠ 警 告

だっこの際は必ず手で支えてください。

お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下する恐れがあります。



授乳後約30分以内や連続2時間以上の使用はしないでください。

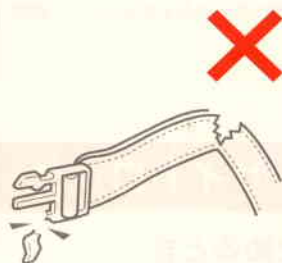
お子さまや使用者に思わぬ負担をかける恐れがあります。
また、使用者が痛みや不快を感じた場合は使用を中止してください。



⚠ 注 意

ほつれ、やぶれ、傷、またバックルなどの部品は破損した場合はただちに使用を中止してください。

そのまま使用しますと、事故につながる恐れがあります。



お子さまのわきの下からセーフティベルトまでの距離が4cm(指3本分)以上ある場合、アジャストファスナーを開いてください。(6ヵ月頃が目安です) お子さまが転倒する恐れがあります。



製品を火の近くや屋外に放置しないでください。
加熱や雨水等でバックルが変形し、事故につながる恐れがあります。

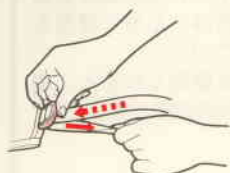


お子さまをだっこまたはおんぶする以外の目的では、使用しないでください。
故障の原因になります。



コンビラダーの使用法

コンビラダーの先端を指で起こしながら、調節ベルトの一方を引きます。

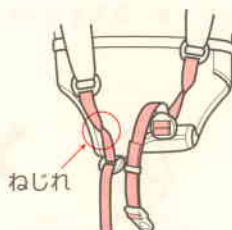


調節ベルトを長くするとき



調節ベルトを短くするとき

使用者の身体に無理なくフィットするように調節ベルトには半回転分のねじれがあります。コンビラダーの表面が使用者の身体に接するようにセットします。



サイドロック、サイドホックの使用法

とめるとき

- ①右手で持ち手を持ち、左手で内面生地を持ちます。
- ②右手側のサイドロックのへこみ部分に左手側のサイドロックの突起を差し込みます。
- ③右手の持ち手を下方にスライドさせてサイドロックをとめます。
- ④サイドホックをとめます。



はずすとき

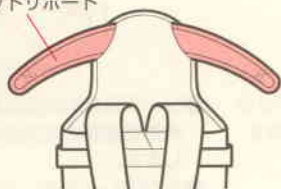
- ①右手で持ち手を持ち、左手で内面生地を持ちます。
- ②両手を左右に開きサイドホックをはずします。
- ③右手の持ち手を上方にスライドさせてサイドロックをはずします。
- ④左右を開きます。



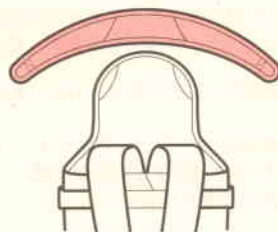
ヘッドサポートの使用方法

ご使用にならないときは、取りはずすことができます。また、洗濯も可能です。
(ヘッドサポートの対象月齢は、首がすわってから7ヵ月頃までです)

ヘッドサポート



装着した状態



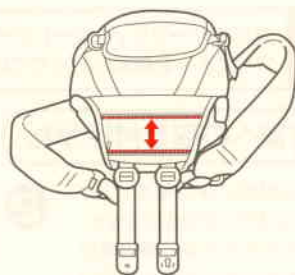
取りはずした状態

アジャストファスナーの使用方法

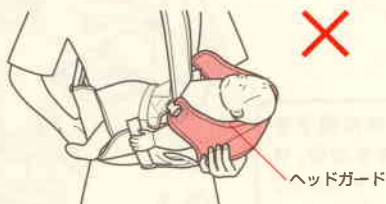
お子さまのわきの下とセーフティベルトとの距離が約4cm(指3本分)以上ある場合、アジャストファスナーを開いてご使用ください。
(6ヵ月頃が目安です)



アジャストファスナーを開ける際はファスナーを最後まで開け、はずしてください。



発育状態により首がすわる前のお子さまであっても頭頂部がヘッドガードに当たり、圧迫してしまうことがあります。その場合はアジャストファスナーを開けてお子さまの身体を下方にずらし、ヨコだっことしてご使用ください。



ヨコだっこのしかた

ヨコだっこの準備

お子さまを入れたり、使用者の身体に装着する前に説明に従って準備してください。

- 1 本体のサイド部分を開きます。
※「サイドロック、サイドホックの使用方法／はずすとき」(5 ページ) をご参照ください。
- 2 「新生児用セーフティサポートシート」を装着します。

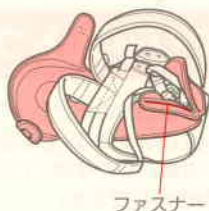
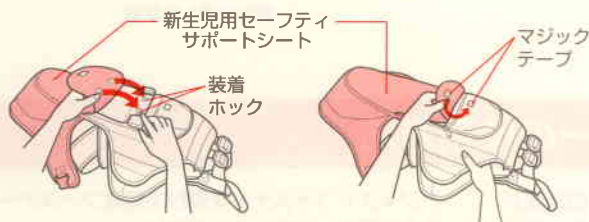
- 2 コンビバックルを肩帯部に収納します。



- 1 「新生児用セーフティサポートシート」を本体の上部からかぶせ、装着ホックをとめます。
- 2 ポケットについているマジックテープにフラップを固定します。

- 3 シート部を本体股部まで延ばし、先端を左右の足穴から外側に出します。

- 4 左右のシートを、ファスナーでとめます。このとき余っているベルトやバックルを本体との間にまとめます。



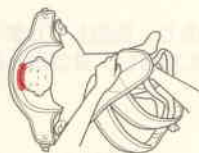
※パッケージには「ヨコだっこの準備」完了済みのものが収納されています。



使用中セーフティサポートシートがはずれるとお子さまが落下する恐れがありますので装着ホック、ファスナーを確実にとめてください。

お子さまへの取り付けかた

- 1 安全な場所に子守帯を広げ、その上にお子さまを寝かせます。このときお子さまの頭頂部がヘッドガードに圧迫されない位置に寝かせてください。
- 2 サイドロック、サイドホックをカチッというまでとめます。※「サイドロック、サイドホックの使用方法／とめるとき」(5 ページ) をご参照ください。



- 4 左右のヘッドガードフックを肩帯についているフック受けに掛けてとめます。

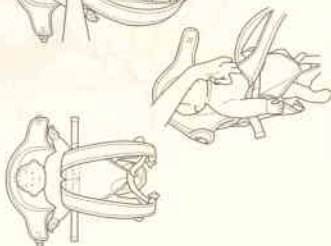
- 3 セーフティバックルをカチッと手応えがあるところまで差し込みます。このときセーフティベルトの長さはお子さまと子守帯との間に大人の指2本程度が入るよう調節してください。また左右のベルトの長さを均等に調節してください。



ヘッドガードフック



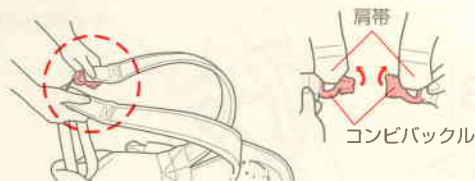
使用中お子さまが落下する恐れがありますので、サイドロック、サイドホック、セーフティバックル・ヘッドガードフックを確実にとめてください。



ヨコだっこのしかた

使用者への取り付けかた

- 1** コンビバックルが肩帯に収納されているかどうかもう一度確認してください。使用者の心臓側にお子さまの頭部がくるよう設定することをおすすめします



- 2** 左右の肩帯を合わせ、一方の肩から脇に斜め掛けし、お子さまをだっこします。



- 3** ヨコだっこの〈基本形〉になるよう設定し、だっこしてください。

- お子さまの後頭部と臀部を手で支える
 - お子さまの頭部が足よりも高い位置設定
- ※使用者の心臓側にお子さまの頭部がくるよう設定することをおすすめします。

この状態で左手の曲げた角度が90°以上開いてしまう場合には調節ベルトが長すぎますので、短く設定し直してください。



警告

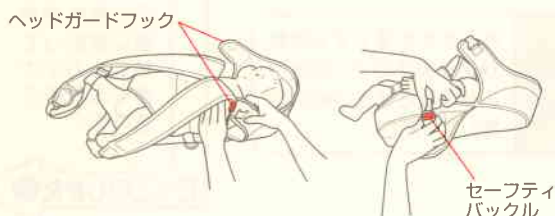
使用中お子さまの身体に思わぬ負担をかけたり、傷害を負う恐れがありますので、必ず後頭部を手で支えてください。

ヨコだっこのはずしかた

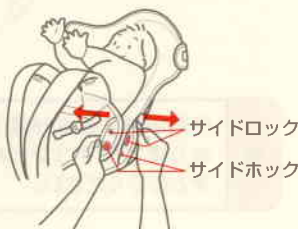
- 1** お子さまを両手で支えながら安全な場所に寝かせます。



- 2** 左右のヘッドガードフックをはずし、次にセーフティバックルをはずします。



- 3** サイドロック、サイドホックをはずします。
※「サイドロック、サイドホックの使用方法／はずすとき」(5ページ)をご参照ください。



- 4** お子さまを取り出します。



タテだっこのしかた

1

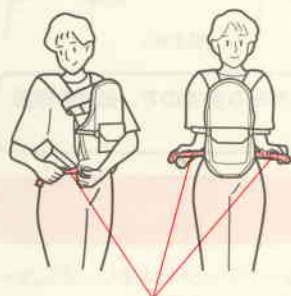
だっこの準備

お子さまを入れたり、使用者の身体に装着する前に説明に従って準備してください。

1

お子さまを入れる前に本体のみを装着し、使用者のウエストに調節ベルトの長さをあわせませす。このとき左右のあまりの長さを同じにします。

※「コンビラダーの使用方法」(5ページ)をご参照ください。



調節ベルト



警告
お子さまが落下する恐れがありますので、調節ベルトの長さはきつめに設定してください。

2

①いったん本体を身体からはずします。
②本体のサイド部分を開きます。

※「サイドロック、サイドホックの使用方法／はずすとき」(5ページ)をご参照ください。

3

だっこのしかた①

お子さまを子守帯に入れてから、使用者に装着する方法です。

状況にあった方法をお選びください。

子守帯を使用者に装着してから、お子さまを入れる方法です。

だっこのしかた②

3

1

①安全な場所でお子さまを入れます。

②サイドロック、サイドホックをカチッというまでとめます。

※「サイドロック、サイドホックの使用方法／とめるとき」(5ページ)をご参照ください。



サイドロック

サイドホック



警告
使用中お子さまがずれ落ちる恐れがありますのでサイドロック、サイドホックを確実にとめてください。

1

使用者の身体に装着し、コンビバックルをカチッと手応えがあるところまで差し込みます。

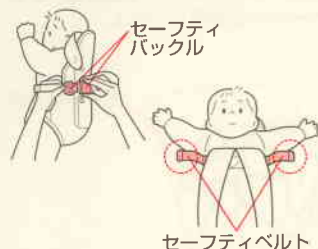


カチッ

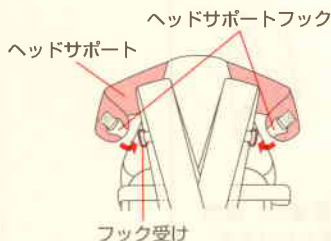


警告
使用中お子さまが落下する恐れがありますのでコンビバックルを必ずとめてください。

- ②** セーフティバックルをカチッと手応えがあるところまで差し込みます。
このときセーフティベルトの長さをお子さまの体型にあわせて調節します。



- ③** ①ヘッドサポートをセットします。
②ヘッドサポート先端のヘッドサポートフックを肩帯についているフック受けにとめます。
※ヘッドサポートをご使用にならないときは取りはずすこともできます。



- ④** 前かがみになり、肩帯を肩にかけ背中コンビバックルをカチッと手応えがあるところまで差し込みます。



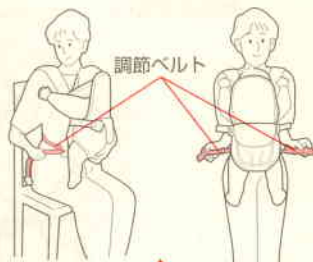
- 使用中お子さまが落下する恐れがありますのでセーフティバックルを確実にとめ、お子さまと子守帯との間にすきまがないようセーフティベルトはきつめに設定してください。
●使用中お子さまが落下する恐れがありますのでコンビバックルを必ずとめてください。

- ②** ①使用者がすわった状態でお子さまをサイドから入れます。
②サイドロック、サイドホックをカチッというまでとめます。
※「サイドロック、サイドホックの使用方法／とめるとき」(5 ページ)をご参照ください。

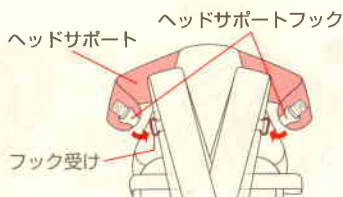
- ③** セーフティバックルをカチッと手応えがあるところまで差し込みます。
このときセーフティベルトの長さをお子さまの体型にあわせて調節します。



- ⑤** 調節ベルトのあまりを同じに調整し、肩帯や調節ベルトの表裏を整えます。



- ④** ①ヘッドサポートをセットします。
②ヘッドサポート先端のヘッドサポートフックを肩帯についているフック受けにとめます。
※ヘッドサポートをご使用にならないときは取りはずすこともできます。



- お子さまを入れる際、落下する恐れがありますので必ず使用者はすわった状態で行ってください。
●使用中お子さまが落下する恐れがありますのでサイドロック・サイドホック・セーフティバックルを確実にとめ、お子さまと子守帯との間にすきまがないようセーフティベルトはきつめに設定してください。

おんぶのしかた

おんぶの準備

お子さまを入れたり、使用者の身体に装着する前に説明に従って準備してください。

- ① コンビバックルを肩帯の中に収納します。



- ② お子さまを入れる前に本体のみ装着し、使用者のウエストに調節ベルトの長さをあわせませす。このときコンビラダーの表面が使用者の腰の高い位置にあたるようベルトの長さを短めに設定します。

※「コンビラダーの使用方法」(5 ページ)をご参照ください。

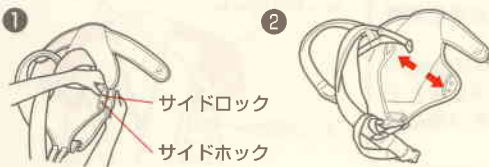


お子さまが落下する恐れがありますので、調節ベルトの長さはきつめに設定してください。

- ③ ①いったん本体を身体からはずします。

- ②本体のサイド部分を開きます。

※「サイドロック、サイドホックの使用方法／はずすとき」(5 ページ)をご参照ください。



おんぶのしかた

- ① ①安全な場所でお子さまを入れます。
②サイドロック、サイドホックをカチッというまでとめます。
※「サイドロック、サイドホックの使用方法／とめるとき」(5 ページ)をご参照ください。



使用中お子さまがずれ落ちる恐れがありますのでサイドロック、サイドホックを確実にとめてください。

- ④ 背負います。



背負う際お子さまが落下する恐れがありますので必ず安全な場所で行ってください。(他の人に介添えていただいた方がより安全です)

- 2** セーフティバックルをカチッと手応えがあるところまで差し込みます。
このときセーフティベルトの長さをお子さまの体型にあわせて調節します。

セーフティバックル

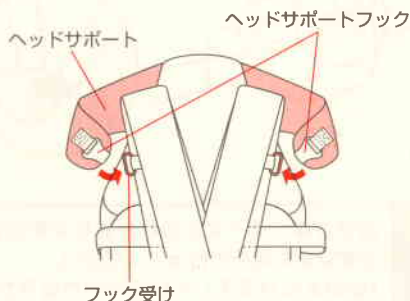


セーフティベルト

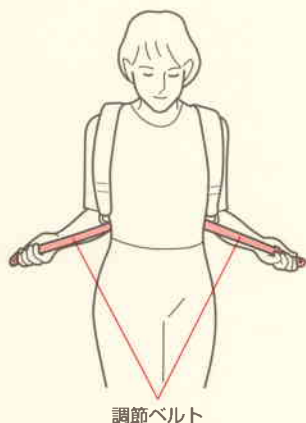


使用中お子さまが落下する恐れがありますのでセーフティバックルを確実にとめ、お子さまと子守帯との間にすきまがないようセーフティベルトはきつめに設定してください。

- 3** ①ヘッドサポートをセットします。
②ヘッドサポート先端のヘッドサポートフックを肩帯についているフック受けにとめます。
※ヘッドサポートをご使用にならないときは取りはずすこともできます。

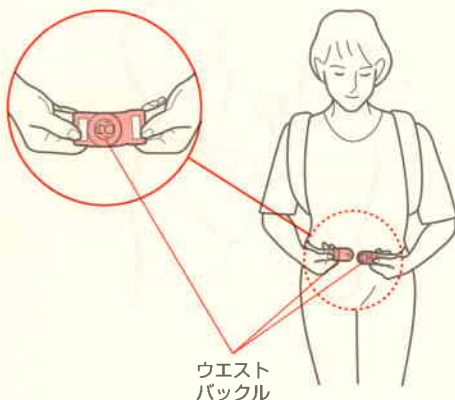


- 5** 調節ベルトのあまりを同じに調整し、肩帯や調節ベルトの表裏を整えます。



調節ベルト

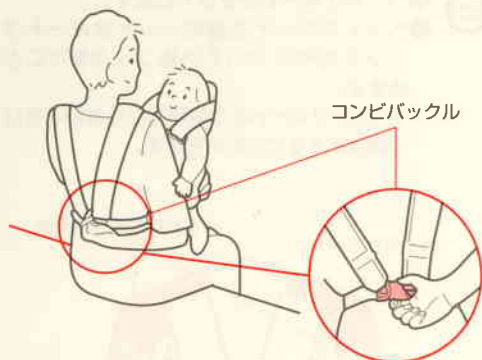
- 6** ウエストバックルを止めます。



お子さまが落下する恐れがありますので、必ずウエストバックルをとめてください。

タテだっこのはずしかた

- ① 安全な場所にすわり、お子さまを支えながらコンビバックルをはずします。

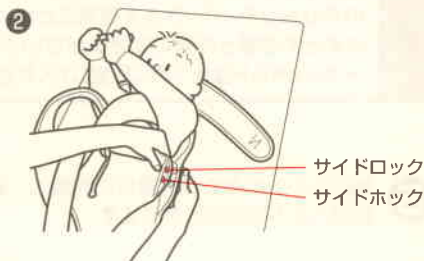
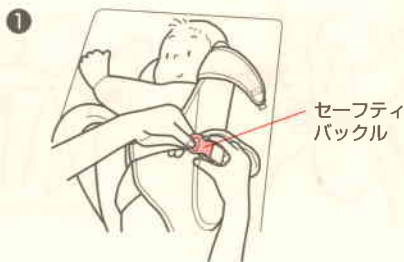


お子さまが落下する恐れがありますので、必ず安全な場所で行ってください。
(他の人に介添えていただいたほうがより安全です)

- ③ お子さまを取り出します。



- ② ①安全な場所にお子さまをおろし、セーフティバックルをはずします。
②サイドロック、サイドホックをはずします。
※「サイドロック、サイドホックの使用方法／はずすとき」(5 ページ)をご参照ください。



おんぶのはずしかた

- ① ウエストバックルをはずします。



ウエストバックル

- ② 肩からおろします。



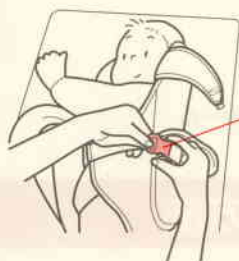
おろす際お子さまが落下する恐れがありますので必ず安全な場所で行ってください。
(他の人に介添えしていただいた方がより安全です)

- ③ ①安全な場所にお子さまをおろし、セーフティバックルをはずします。

- ②サイドロック、サイドホックをはずします。

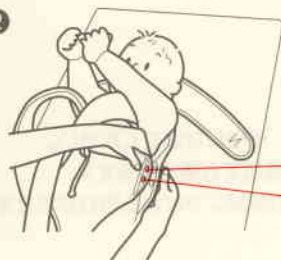
※「サイドロック、サイドホックの使用方法／はずすとき」(5 ページ)をご参照ください。

①



セーフティバックル

②

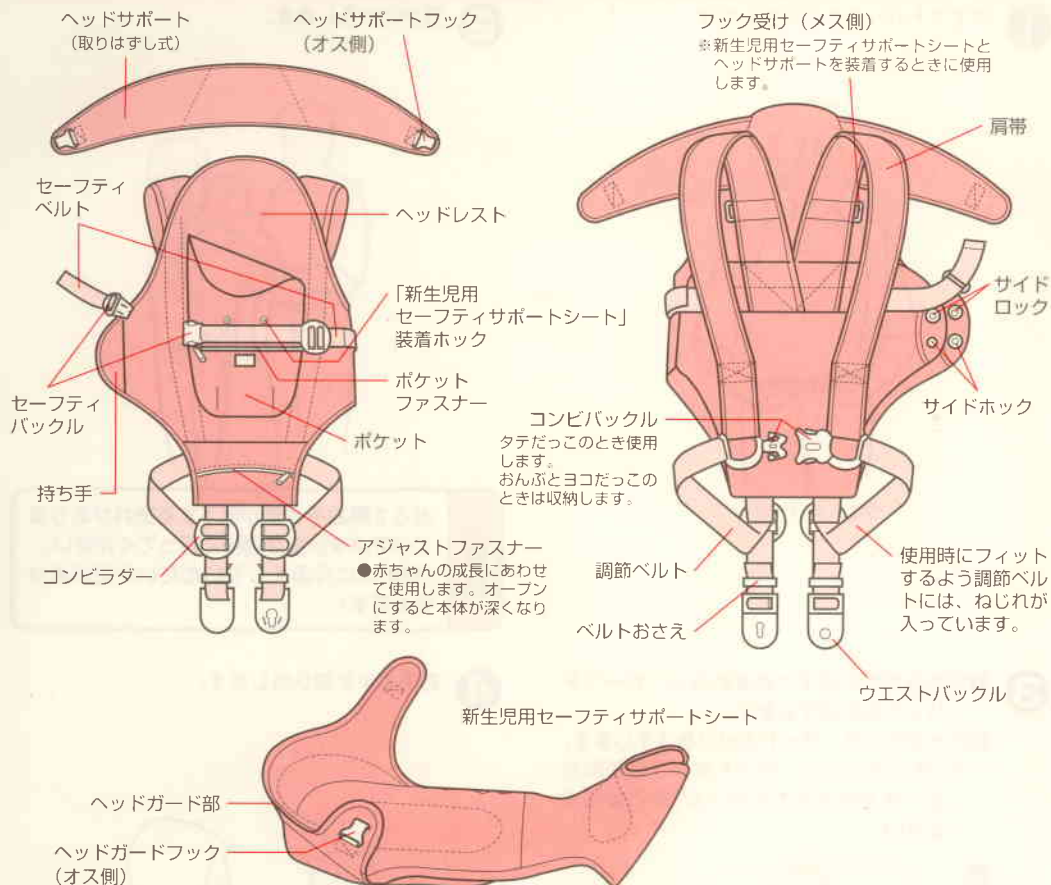


サイドロック
サイドホック

- ④ お子さまを取り出します。



各部の名称



※商品によりポケットの形状が異なります。

素材／表地：綿・ポリエステル／ベルト：アクリル／バックル：ポリアセタール

洗濯及び日常のお手入れ方法

- 洗濯は水またはぬるま湯で押し洗いをし、形を整えて日陰で平干ししてください。
- 軽い汚れの場合は、湿らせた布でたたいて落としてください。

洗濯についてのご注意

1. 色落ちすることがあります。他のものとは別に洗ってください。
2. 漂白剤、蛍光剤入りの洗剤は肌あれ湿疹などの原因となりますので、使用しないでください。
(天然植物性「コンビおむつ・肌着洗い(粉末洗剤、液体洗剤)」の使用をお薦めします)
3. 洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。バックルなどの破損につながる恐れがあります。